



ROCK PAINT

114ライン 5000番級

ハイパーエメロック

弱溶剤2液型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料

親水性・低汚染性

高耐候・高耐久性

臭気がマイルド

防藻・防カビ性

環境低負荷

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

面



ロックペイント 株式会社

耐久性と低汚染性の「W効果」

ハイパーユメロックは、ロックペイント独自の技術により、耐候性・低汚染性を進化させた三液タイプのNADアクリルシリコン樹脂塗料です。

すぐれた耐久性・低汚染性の「W効果」は、住宅のライフサイクルコストの低減や、長期優良住宅の保全と維持のために役立ちます。

ニーズの高い耐久性と低汚染性を持ち、塗料臭気もマイルドで環境に低負荷な弱溶剤型塗料である上、スムーズな作業性とすぐれた隠蔽性など、“塗りごこち抜群”の塗料です。

特長

1. 低汚染性

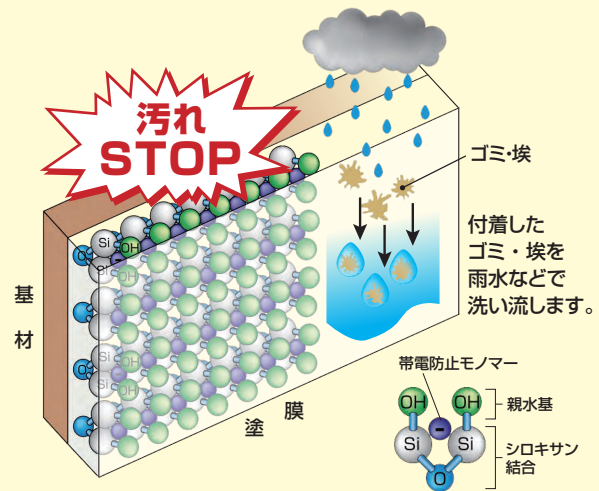
帯電防止効果のある特殊成分配合により親水性の高い塗膜を形成し、汚染物を降雨で浮かせ流します。

【耐雨すじ汚染性比較試験結果】



ハイパーユメロック アクリルシリコン樹脂塗料 市販品B
アクリルシリコン樹脂塗料 市販品A

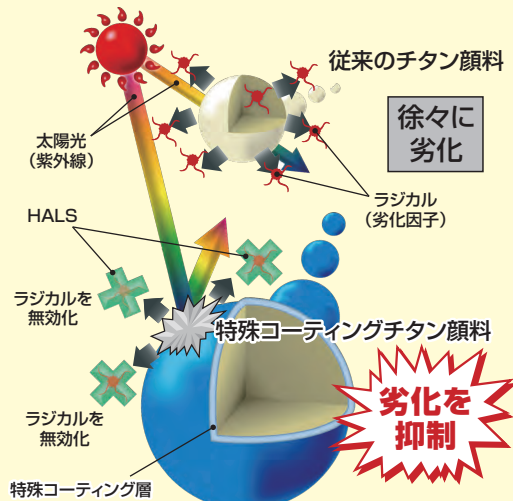
【低汚染メカニズム】



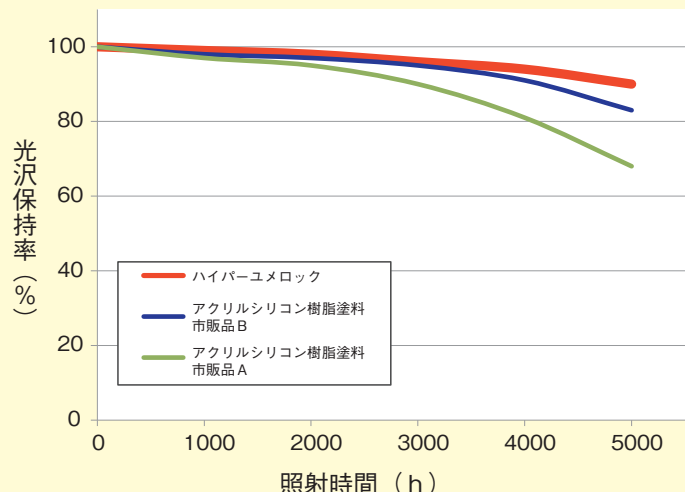
2. 高耐候性・高耐久性

特殊三元ハイブリッド形アクリルシリコン樹脂と特殊コーティングチタン顔料及びラジカル吸着安定剤（HALS）の効果により、すぐれた耐候性・耐久性を発揮します。

【ラジカルコントロールメカニズム】



【キセノンランプ促進耐候性試験】



3. 作業性抜群、仕上がり良好

NAD樹脂の特性を生かしたレオロジーコントロール技術により、塗装しやすく、高級感のある美しい仕上がりになります。

4. ターペン希釈型・臭気がマイルド

溶解力の弱い溶剤を使用しているため、旧塗膜を侵しにくく、においもマイルドですので、周辺地域や作業環境にも配慮した塗料です。

5. 防藻・防カビ性

防藻・防カビ剤の配合により、カビや藻類の発生を抑え、長期間にわたり清潔な住環境を維持します。

6. 環境低負荷

鉛・クロムなどの有害な重金属を原料として配合せず、環境にもやさしい塗料です。

7. 幅広い用途適性

外壁のみならず、鉄部、非鉄金属部など新設、塗り替え改修用としてご使用できます。また木部弾性用硬化剤を選択することにより、木部面や躯体のクラックに追従する弾性塗膜の仕上げが可能で
す。

性能

項目		塗料種類	ハイパ エクスロック	2液NAD型 ウレタン樹脂塗料	2液溶剤型 アクリルシリコン樹脂塗料
光沢 (60° グロス)			90	85	80
乾燥時間 (23°C)	指触乾燥		25分	25分	20分
	塗り重ね		2時間以上	2時間以上	24時間以上
耐水性 (20°C水道水に1ヶ月間浸漬)			◎	◎	◎
耐温水性 (40°C温水に1週間浸漬)			◎	◎	◎
耐アルカリ性 (20°C飽和水酸化カルシウム溶液に1週間浸漬)			◎	○	◎
耐酸性 (20°C、0.5%硫酸水に1週間浸漬)			◎	○	◎
耐衝撃性 (JIS K5600デュポン式)			500g×30cm合格	500g×50cm合格	300g×30cm合格
耐屈曲性 φ3mm			○	○	×
促進耐候性 キセノンランプ 2500時間	ΔE*		1.1	2.2	1.3
	光沢保持率ΔGR		95%	70%	95%
耐汚染性			◎	△	◎

注) 気温、天候状態、膜厚や素地の状態などにより多少異なります。

<評価の基準> 優 ◎>○>△>× 劣

用途

素地	セメント系		金属部 ^(注1)			プラスチック類 ^(注2)				木部
	コンクリート	モルタル	鉄	亜鉛メッキ	アルミ	硬質塩ビ	軟質塩ビ	FRP	アクリル板	木部 ^(注3)
新設及び塗替適性	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

●コンクリート、モルタル、鉄・非鉄金属部、木部などの新設及び塗り替え。

●サイディングボード、硬質塩ビなどの塗り替え。

(注1) 金属部に塗装する場合は、必ず下塗りに適性のあるサビ止めペイントを塗装してください。

(注2) アクリル板、軟質塩ビには塗装できません。

(注3) 木部の塗装には木部弾性用硬化剤を使用してください。木の材質、下地の状況によっては、割れ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。

使用方法

●配合比 (重量比)

主剤：硬化剤＝9：1 (13.5kg：1.5kg)

主剤：木部弾性用硬化剤＝7.5：1 (13.5kg：1.8kg)

[木部弾性用硬化剤使用時、配合比が異なりますので注意してください。]

●希釈剤・割合

塗料用シンナー、又はエナメルシンナー

ハケ・ローラー：5～15%、エアレス：10～20%

(硬化剤を配合した塗料100に対する希釈割合)

●塗装回数

2回

●塗付量

0.11～0.13kg/m²・回

●塗布面積

115～135m²/主剤、硬化剤セット・回



可使時間・乾燥時間

硬化剤を配合した塗料は時間の経過と共に増粘・固化して使用できなくなります。

次の表を目安に、配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。

可使時間を過ぎた塗料は正常な塗膜性能を発揮できず、艶引け・フクレ・はがれなどの原因となります。

乾燥時間は気温、膜厚、色、素地などの状態により異なりますが、おおむね下記の表を参考にしてください。

気 温	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	50分	25分	15分
塗 り 重 ね 可 能 時 間	4時間以上 7日以内	2時間以上 7日以内	1.5時間以上 3日以内
可 使 時 間	18時間	7時間	4時間

使用上の注意

①使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、全体を均一な状態にしてください。

②調色には必ず114ライン5000番級ハイパーユメロック原色または、ロックトーンカララント3000(ベースの5%以内)を使用してください。ただしロックトーンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。

③硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。特に木部弾性用硬化剤との配合比(重量)は、主剤：硬化剤＝7.5：1で異なりますので注意してください。

④希釈には基本的に塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとタレや色分かれの原因になります。冬季に乾燥が遅い場合、エナメルシンナーを使用することもできます。

⑤2回塗りまたはタッチアップは、1回塗りの後、1週間以内に行ってください。1週間を過ぎるとシリコンの反応が進行し付着不良となるおそれがあります。また、降雨などの影響により、塗り重ね可能時間が短くなることがあります。手直しなどでやむを得ず1週間以上後に塗り重ねる場合は、表面荒らしなど必要な処置を実施してください。

⑥夏場(気温、被塗物温度を含む)の高温下では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りの塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに行ってください。

標準塗装仕様

1. 窯業系サイディングボードなどの塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ : 1~5 ローラー : 1~5	1	0.2~0.4	3時間以上
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}

2. コンクリート、モルタルなど外装材(可とう形改修塗材Eを使用)の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ ^{注2)}	水	ローラー : 5~10 エアレス : 5~10 砂骨ローラー : 1~5	1	0.3~0.5 0.8~1.5	8時間以上
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1 ^{注3)}	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}

3. 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは、電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	061-7500番級 2液型サビカット ^{注4)} 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内 ^{注1)}
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}

4. 硬質塩化ビニル、F.R.P.面の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、油分などはワイヤーブラシ等で完全に除去する。 塗装する前にサンドペーパー P240 ~ P400 で研磨による足付けを行う。					
下塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}

5. コンクリート、モルタルなどの平滑仕上げ(新設)

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた正常な面とする。(含水率 10%以下、pH9.5 以下)					
下塗り ^{注5)}	033-6000番級 ハイパーシーラーエポ ^{注6)} 配合比(重量)主剤:硬化剤=5:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.08~0.13	4時間以上 7日以内 ^{注1)}
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量)主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注1)}

注1) 夏場の高温時は、硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

注2) 下塗りの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。

注3) 弾性仕上げの場合、硬化剤は木部弾性用硬化剤を使用してください。配合比(重量)は主剤:硬化剤=7.5:1になります。

注4) 1液型変性エポキシ「サビカットⅡ・サビカットプラス」、2液型変性エポキシ「ロックエポキシハイプライマー」や2液型水性エポキシ系「水性サビカット」を使用することもできますが、高防食性が必要な場合、垂鉛目付量が多い銅板には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を使用してください。

注5) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は、「ぬれ感が出るまでを目安に塗装してください。

注6) ハイパーシーラーエポは透明とホワイトがあります。下塗りには他に、ユメロックシーラー(透明又はホワイト)、エポシーラーマルチ、ロックカチオンシーラーマルチⅢ、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトがあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

6. 鉄部、非鉄金属部の平滑仕上げ（新設）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又はSIS St3程度。じんあい、水分、油分は完全に除去する。					
下塗り	061-7500番級 2液型サビカット ^{注8)} 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内 ^{注7)}
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注7)}

7. 木部の平滑仕上げ（新設）

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面とする。木のヤニは削り取るか、又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要などときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051-1530番級 ロック木部用マルチ下塗り 各色 ^{注9)}	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内 ^{注7)}
上塗り	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量) 主剤:硬化剤 ^{注10)} =7.5:1	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上 7日以内 ^{注7)}

注7) 夏場の高温時は、硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。

注8) 1液型変性エポキシ「サビカットII・サビカットプラス」、2液型変性エポキシ「ロックエポキシハイプライマー」や2液型水性エポキシ「水性サビカット」を使用することもできますが、高防食性が必要な場合、亜鉛目付量が多い鋼板には「2液型サビカット」または「ロックエポキシハイプライマー」を使用してください。

注9) ロック木部用マルチ下塗りはホワイト、チョコレート、ブラックの3色あります。

注10) 上塗りの硬化剤は木部弾性用硬化剤を使用してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

種類と容量

(全て第二石油類です。)

品 番	色 名	容 量	品 番	色 名	容 量
114-5204	ハイホワイト	13.5kg	114-5210	レッド	13.5kg・3.6kg
114-5021	ムエンエロー	13.5kg	114-5225	オキサイドレッド	13.5kg・3.6kg
114-5024	ムエンファインエロー	13.5kg・3.6kg	114-5233	オーカー	13.5kg・3.6kg
114-5029	ムエンオレンジ	13.5kg	114-5234	ブラック	13.5kg・3.6kg
114-5036	バイオレット	13.5kg	114-5095	フラットベース	13.5kg・3.6kg
114-5040	シンクレッド	13.5kg	114-5150	クリヤー	13.5kg
114-5075	シアニングリーン	13.5kg	114-5140	硬化剤	1.5kg・400g
114-5080	ロイヤルブルー	13.5kg・3.6kg	114-5120	木部弾性用硬化剤	1.8kg

◆関連下塗塗料

品 番	品 名	容量	消防法	品 番	品 名	容量	消防法		
061-7530	2液型サビカット	赤サビ色	14.4kg	2石	サビカットII	赤サビ色	16kg 4kg	2石	
061-7531		グレー				グレー			
061-7532		ホワイト				ホワイト			
061-7534		ブラック				ブラック			
061-7910	2液型サビカット 硬化剤		1.6kg	2石	061-3530	サビカットプラス	赤サビ色	16kg	2石
061-0530	ロックエポキシハイプライマー	ブラウン	15kg	2石	061-3531	グレー			
061-0531		グレー			061-3532	ホワイト			
061-0532		ホワイト			061-5530	水性サビカット	赤サビ色		
061-0011	ロックエポキシハイプライマー 硬化剤		3kg	2石	061-5531	水性サビカット	グレー	14kg	非
061-0021	ロックエポキシハイプライマー 低温用硬化剤		3kg	2石	061-5910	水性サビカット 硬化剤		2kg	非
033-6110	ハイパーシーラーエポ	ホワイト	12.5kg	2石	032-2106	ビニロックエラストティックフィラーIII		16kg	非
033-6150		(透明)			032-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト		15kg	非
033-6910	ハイパーシーラーエポ 硬化剤		2.5kg	2石	032-1179	ロックカチオンシーラーマルチIII		15kg	非
033-5110	ユメロックシーラー	ホワイト	12.5kg	2石	033-8150	エポシーラーマルチ (透明)		14kg	2石
033-5150		(透明)			051-1531	ロック木部用マルチ下塗り	ホワイト	16kg 4kg	2石
033-5910	ユメロックシーラー 硬化剤		2.5kg	2石	051-1532		チョコレート		
032-2001	ロックSBフィラー		15kg	非	051-1533		ブラック		

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5 以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合には塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 鉄部、非鉄金属部の塗装には変性エポキシ樹脂系サビ止め塗料（「2液型サビカット」、「ロックエポキシ ハイプライマー（2液型）」、「水性サビカット（2液型）」、「サビカットⅡ（1液型）」または「サビカットプラス（1液型）」）を下塗りに使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいため、素地調整後、下塗り塗料（サビ止め塗料）で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗りを行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 塗装面の取り合い等で、可塑剤を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は、塗膜が軟化することがありますので避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンバテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など）を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくる場合がありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増し打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えをご検討ください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC 板へ塗装する場合は、適性のあるユメロックシーラーまたはハイパーシーラーエポを下塗りとして使用してください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒の処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポを下塗りに使用してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F ☆☆☆☆を使用しています。F ☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素材を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F ☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- ツヤの調整品は、被塗物の形状、状態、塗膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。また、塗り継ぎや補修の際にツヤむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気が十分にいき、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ハイパーユメロックの硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起こすおそれがありますので、換気を良くし、適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色（近似色）で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および、健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下で子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立て看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※安全データシート（SDS）をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号 波正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：